

# 国営土地改良事業地区営農推進講演会を開催 国営総合農地開発事業「五條吉野地区」

平成23年2月2日、国営総合農地開発事業五條吉野地区における営農推進活動の一環として、奈良県橿原市「奈良県社会福祉総合センター」において国営土地改良事業地区営農推進講演会を開催しました。

今年の講演会は、奈良県果樹研究会が行っている勉強会（冬期大学）と連携して行い、当日は受益農業者をはじめとして、奈良県、土地改良区等の関係者など、全体で約130名の参加がありました。



会場の様子



柿の栽培管理について質問する参加者

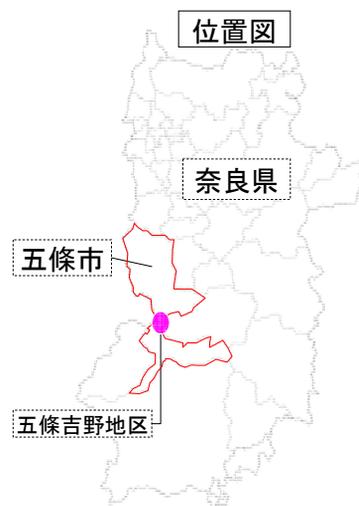
講演では、奈良県農業総合技術センター（奈良県五條市）の小走善宣氏より、「大苗による改植の推進」をテーマに、樹齢構成別樹園地での調査結果を踏まえた、改植による樹園地の若返りの効果について講演していただきました。また、農業会議経営コンダクター（元果樹振興センター所長）の岩本和彦氏より、「自然災害と果物づくり」をテーマに、自然災害（凍霜害）に対する備えと、対策となる栽培管理技術について講演していただきました。

## ～国営総合農地開発事業「五條吉野地区」の概要～

国営総合農地開発事業「五條吉野地区」は、奈良県南部に位置し、北西に大阪府、西に和歌山県と接する県境に位置しています。地形は、標高120mから550mに及ぶ山地で、樹園地の平均傾斜が28度に及ぶ園地もあり、農作業への機械導入が困難な状況にありました。

そのため本事業では、地域に広がる山林等526haを農地造成により緩傾斜化し、かんがい施設及び道路が整備された生産性の高い農地に整備しました。また、併せて隣接介在する既成果樹園1,137haに対し、畑地かんがい施設の整備を行い、経営規模の拡大と生産性の向上により、農業経営の安定を図っています。

奈良県内でも有数の果樹農業地域であり、販売農家数は県内の8%程度ですが、農業産出額は県内の19%を占めています。全国2位の柿の生産地である奈良県において、その産出量の約90%（約23,100 t）を本地域が占めています。



## テーマ①: 大苗による改植の推進

講師: 奈良県農業総合センター 小走 善宣 氏

### 1. 改植の必要性

- ・ 富有柿は、栽培面積の内、半分が樹齢50年生以上。
- ・ 樹齢30年以下主体の園地と、50年以上主体の園地では収量にして500kg/10aの差。
- ・ 若木では販売単価の高い3L~4Lが比較的多くとれる。
- ・ 柿は成木化するのに10年かかるとされ、計画的な改植が必要。

### 2. 改植を進めるために

- ・ 改植の際に一年生苗をポット等で大苗にまで育成してから定植することで、成園化が早まり、未収益期間が短縮される。
- ・ 三年生苗は移植後の成長が早く、春に植えると夏には樹高が2mを越え、3m×3mの枝張になる。
- ・ 三年生苗の定植後、2年目には約160kgの収量があり、1本の樹に費やした肥料代や農薬代は賄うことができる。

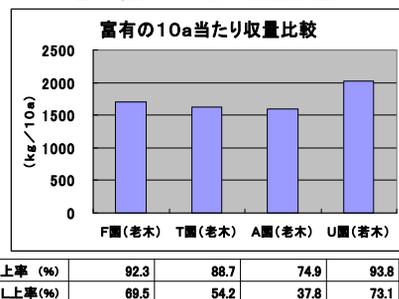
### 3. 育苗管理と定植後の管理

- ・ 育苗管理では、かん水・防除・施肥・除草などがこまめにできるように、目が届く範囲で管理することが大切。水切れは禁物なので、かん水には注意を払う。
- ・ 定植後の管理においても、地上部の生育に根が追いつくように、水切れに注意し、かん水を行う。



講演する小走氏

老木園の実態（生産性）



## テーマ②: 自然災害と果物づくり

講師: 奈良県農業会議 岩本 和彦 氏

### 1. 自然（気象）災害と果樹への被害

- ・ 平成22年春の凍霜害では奈良県の柿生産地の全域、全品種で大被害。
- ・ 自然災害を受けると樹の反応をみて適切に対応する必要がある。

### 2. 凍霜害後の対応

新芽等の被害状況別に樹の反応と当年の枝管理、翌年以後の整枝・せん定等について説明。

- ・ 被害を受けたときは、いち早く分岐点のしわ芽まで切り返すと、25日~1ヶ月で発芽・伸長して良い発育枝になる。そのままでは再発芽に1ヶ月半以上かかり、その後の花芽分化等に影響する。
- ・ 発芽後は残った花で樹勢調節と9月まで枝の管理。
- ・ 被害樹では先の細い枝や10cm以下の短い枝でも花芽分化をしているので、通常のせん定で良い。丁寧に行うなら短い枝も切っておくと摘らいが楽になる。
- ・ せん定時無駄な立ち枝も縦目とぞうきんしばりで良い側枝になる（写真）
- ・ 昨年被害を受けたことにより、今年は取り戻そうという心理で結果母枝を多く残しているの、摘らいは強めに行う。



講演する岩本氏

### 【枝の切り返し作業】



ハサミで縦に切れ込みをいれてひねる。維管束が切れないかぎり植物は慣れて生き続ける。